

## 第2学年 国語科

### 児童の実態（7月現在）

<p>＜実態の分析＞  <b>観点別結果の分析</b>          ○【関心・意欲・態度】「読むこと」「漢字」などの領域は進んで取り組むが、「話す・聞く」「書く」などの領域は苦手意識をもつ児童が多い。          ○【話す・聞く】話を聞く姿勢は良いが要点を押さえて聞く力、順序を考えて分かりやすく話す力は指導を要する児童が多い。          ○【書く】朝学習で日記に取り組んできた結果、書くことに抵抗がない児童が多いが、豊かに書き表す表現の力は指導が必要である。          ○【読む】お話を読んだり聞いたりすることの楽しさを感じている。お話の世界に身を置いて学習を進めることができる。          ○【言語事項】朝学習や宿題で繰り返し学習に取り組むことで着実に力を付けてきている。</p>
--

＜指導方法の課題＞	＜具体的な授業改善策＞	＜補充・発展指導計画＞
<p>[課題設定]            語彙力を高める指導に重点を置く。語彙力を付けることで、話す・聞く、書くなどの活動ばかりでなく、自分の読みを深めたり交流したりする力を伸ばしていきたい。</p>	<p>[指導]            ・教材文中の語句について動作化を取り入れたり、意図的に語句の取り立て指導を取り入れたりする。            ・自由読書を勧めるばかりでなく、領域を提示した読書や文学作品の読書など多岐にわたるように工夫する。</p>	<p>[補充的な学習指導]            ・教師の話の中で身に付けさせたい語句を意図的に取り入れ、使える言葉として語彙を増やしていくようにする。            ・児童の表現のよさを積極的に褒め、豊かな表現力を高めていく。</p>
<p>[学習形態]            学習内容に合わせ、学習形態を考える。</p>	<p>[学習形態の工夫]            ・安心して話せる、書ける学級の雰囲気を作る。            ・ペア学習では、マンネリ化しないよう話し合う視点を明確にする。</p>	<p>[発展的な学習指導]            ・漢字の他に、簡単な内容の1問だけの言語事項のプリントを宿題として毎日取り組ませる。</p>
<p>[発問・指示・板書計画]            発問・指示・板書など活動がはつきりつかめるようにする。</p>	<p>[発問・指示・板書の工夫]            ・発問をしっかり考え、要点を押さえ視点がずれない読み取りをさせる。            ・場面の様子など挿絵なども手掛かりにして読み取らせる。</p>	
<p>[教材の活用]            教科書教材だけでなく、興味関心をもち、意欲的に学べる学習教材を適切に取り入れる。</p>	<p>[教材の工夫]            書く活動では、豊かに書き表せるように具体物を準備する。            ・視写・聴写など意図的に取り入れる。</p>	
<p>[評価の方法]            ワークシートを工夫する。            発言などの行動観察による評価も大切にする。</p>	<p>[評価の工夫]            ・学習時のつぶやきなどメモし、学習の中に生かしていく。</p>	

<p>＜評価・修正＞</p> <p>[評価] ワークシートの活用により、国語の学習に楽しみ意欲的に取り組む児童が増えてきた。叙述にそって読み取る力も育ってきた。分からない言葉があると聞いたり国語辞典を手にとったりすることも増えてきた。            [修正] 自分の考えや思いを伝える時に言葉足らずになっていることが多いので、的確な表現や言葉などを使う場を多く設け、体験しながら身に付けていくようにする。</p>
--

## 第2学年 算数科

### 児童の実態（7月現在）

<p>＜実態の分析＞  <b>観点別結果の分析</b>          ○【<b>関心・意欲・態度</b>】長さ・水のかさなど操作を伴う学習は興味をもち、意欲的に取り組んでいる。大きな数・加減の計算など数の構成についての理解が十分でないために、苦手意識をもつ児童もいる。          ○【<b>技能</b>】朝学習・宿題・学習時の補助プリントなど、繰り返し数多く学習することで着実に計算力は伸びてきている。          ○【<b>思考・判断・表現</b>】文章を読み取る力が十分と言えず、問題の把握が難しい。説明などを加えると課題を解決することができる。</p>
--

＜指導方法の課題＞	＜具体的な授業改善策＞	＜補充・発展指導計画＞
<p><b>[課題設定]</b>            一人一人が主体的に学習活動に取り組めるような学習活動の展開を図る。</p>	<p><b>[指導]</b>            ・個の実態を的確に捉え、基礎基本の力をしっかりつけていく。            ・なかなか身に付かない領域や単元は繰り返し指導を図る。</p>	<p><b>[補充的な学習指導]</b>            ・補助プリントを準備し、学習内容の習熟を図る。</p>
<p><b>[学習形態]</b>            教え・学ぶ形態の学習だけでなく、具体物を操作したり、話し合ったり考えたりする学習形態を意図的に取り入れる。</p>	<p><b>[学習形態の工夫]</b>            ・操作活動や自力解決活動の時間を設け、考える道筋を学び合ったり、できた喜びを感じたりできるようにし、主体的な学びを育てていく。</p>	
<p><b>[発問・指示・板書計画]</b>            本時のねらいをしっかりと押さえ、一時間一時間、学習内容がきちんと身に付くよう、発問・指示・板書計画をたてる。</p>	<p><b>[発問・指示・板書の工夫]</b>            ・算数の用語を適切に使って、発問指示を行う。            ・文章だけでなく、場面絵や図を提示してから書かせるなどの支援を行い、内容把握を容易にできるようにする。</p>	<p><b>[発展的な学習指導]</b>            学習内容の習熟に応じ、個別に対応する。</p>
<p><b>[教材の活用]</b>            本時のねらいをしっかりと押さえ、ねらいにせまる適切な場面設定を確認しながら進める。</p>	<p><b>[教材の工夫]</b>            ・「授業が楽しい」「分かった」「できた」と思えるよう、教材の内容や展開の工夫を図る。</p>	
<p><b>[評価の方法]</b>            正解が導き出したことばかりでなく、思考の道筋を理解し評価できるようにする。</p>	<p><b>[評価の工夫]</b>            ・考え方を書く時間を大切にし、ノートの書き方の指導を行う。            学習後必ずノートに目を通し、次の学習に生かすようにする。</p>	

<p>＜評価・修正＞</p> <p><b>[評価]</b> 計算・時間・時刻・図形など繰り返し取り組むことで2年生の学習内容はほぼ身に付けている。学習形態・具体物の準備など関心意欲を高めるよう工夫したり大きな数や文章の読み取りでは個別指導をしたりしてきた。</p> <p><b>[修正]</b> 既習の知識を生かし、課題解決していくような場の設定や自分の考えに自信をもって発表できるような支援などを行う。</p>
--

## 第2学年 生活科

### 児童の実態（7月現在）

<p>&lt;実態の分析&gt;</p> <p>観点別結果の分析</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○【関心・意欲・態度】いろいろな事に興味をもち、意欲的に取り組んでいる。</li> <li>○【思考・表現】生き物の観察や野菜の成長の様子を丁寧に観察し、気付いたことや思ったことをカードに記録することができる。町探検では、自分の思いを大切に調べまとめている。</li> <li>○【気づき】視点などの支援を通し、自分が気付いたことを素直に書き込んだり、友達の良い所を取り入れようとしていたりしている。活動中気付いたことを積極的に発言する児童も多い。</li> </ul>
---

<指導方法の課題>	<具体的な授業改善策>	<補充・発展指導計画>
<p>[課題設定]</p> <p>周りの人たちや動植物に積極的に関わり、興味・関心をもって生き生きと主体的に活動しようとする態度・心情を育てる。</p>	<p>[指導]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な事柄から学習単元に入っていくよう学習の流れを工夫する。</li> <li>・個の気づきをまとめる時間を確保し、児童一人一人の願いや思いを大事にする。</li> </ul>	<p>[補充的な学習指導]</p> <p>季節を感じる話題や実物を身近に置き、朝の会や給食の時間など話す機会を設け、興味・関心を育てる。</p>
<p>[学習形態]</p> <p>活動内容に合わせ、個・ペア・小グループ・全体などの学習形態を工夫する。</p>	<p>[学習形態の工夫]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個の気づきや思いを、ペア・グループなど少人数での交流活動を意図的に多く設け、深めると共に自分の気づきや思いに自信をもつことができるようにする。</li> </ul>	
<p>[発問・指示・板書計画]</p> <p>本時の学習内容をしっかりつかむことができるよう板書・指示をする。</p>	<p>[発問・指示・板書の工夫]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の目当てを明確にし、的確な短い発問や指示を心掛ける。</li> <li>・一時間の学習の流れが分かるように提示する。</li> </ul>	<p>[発展的な学習指導]</p> <p>友達の良い所を紹介し、自分の学習を深めていけるよう支援を行う。</p>
<p>[教材の活用]</p> <p>学習内容に合わせ、実物操作や体験活動ができるような場を設ける。地域と積極的に関わることができるようにする。</p>	<p>[教材の工夫]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実物操作や体験活動を多くすることで、気づきを深めるようにする。</li> <li>・地域のよさに気付くことができるようにする。</li> </ul>	
<p>[評価の方法]</p> <p>学習カードや行動観察から評価をする。</p>	<p>[評価の工夫]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・行動観察の記録の仕方を工夫する。</li> </ul>	

<p>&lt;評価・修正&gt;</p> <p>[評価] いろいろな体験活動に興味関心をもち、意欲的に取り組んでいる。ただそれを表現する力としては個人差が大きい。もう体験してしまうとそれを人に伝えようとする意欲を喚起する手立ての工夫が必要だと感じた。</p> <p>[修正]</p> <p>まとめや作品などについて何パターンかのモデルを提示し、具体的にイメージをもたせるようにする。</p>
---

## 第2学年 体育科

### 児童の実態（7月現在）

<p>＜実態の分析＞  <b>観点別結果の分析</b>          ○【関心・意欲・態度】水遊びにおいてはほとんどの児童が意欲的に取り組むことができた。鬼遊びでは、走らなくていいように端の方に隠れている児童もいた。苦手なことを避けようとする児童もいる。          ○【技能】鬼に捕まらないようにジグザグに走るなど工夫がみられ、友達と協力して追いかけることができた。水遊びでは、動物に変身したり走ったりすることで水中での動きに親しんだ。ほぼ全員の児童が顔を水につけることができる。休み時間に遊んでいる様子を見ると、飛んできたボールに対する動き方がわからない児童がいるように見受けられる。          ○【思考・判断・表現】現状でルールの変更などを子供たち自身が考えて行っていない。活動の中で一部の児童が効率的な動きをするためにどうすればよいか考えている様子が見られる。</p>
---

＜指導方法の課題＞	＜具体的な授業改善策＞	＜補充・発展指導計画＞
<p>[課題設定]            児童が運動を楽しんでいると思いながら活動する環境を整え、運動する時間を確保する必要がある。</p>	<p>[指導]            ・基本的な運動の動きを身に付けられるスモールステップを用意し、達成感を感じられる学習ができるようにする。また、学習の流れを一定にし、説明の時間を短縮することによって運動量を確保する。</p>	<p>[補充的な学習指導]            具体的な動きが行えていない児童には、個別に補助をすることによって正しい動きを身に付けさせ、できた達成感を味わわせる。</p>
<p>[学習形態]            個人や全体で行うだけでなく、ダンスを見合ったときのようにペア学習を適宜取り入れていく必要がある。</p>	<p>[学習形態の工夫]            学習の内容に準じて、ペア学習を取り入れていく。全員が必ず取り組むことのできるようにし、励ましの声をかけられるようにする。</p>	<p>[発展的な学習指導]            記録に挑戦する時間や美しい動きを目指すために、記録の目安や美しい動きの見本を掲示するなど意欲的にチャレンジする環境を整える。</p>
<p>[指示]            学習の展開を一律にし、指示を的確に簡潔に行うことによって児童の運動量を確保する必要がある。また、掲示物も適宜用意し、児童が正しい動きや次に行うことを意識して取り組むことができるようにする。</p>	<p>[指示]            集合する際の集まり方、話の聞き方を徹底するとともに、掲示物を掲示しておくことによって、見通しをもって学習できるようにする。</p>	<p>[発展的な学習指導]            記録に挑戦する時間や美しい動きを目指すために、記録の目安や美しい動きの見本を掲示するなど意欲的にチャレンジする環境を整える。</p>
<p>[場の工夫、記録カード]            児童が「できた」と感じられる基本的な動きを身に付けられる場を準備する必要がある。ワークシートに適宜記入させ、児童が学習の振り返りを行えるようにする。</p>	<p>[場の工夫、記録カード]            本運動の前に必ず本時の学習を行うにあたって必要な動きを身に付ける時間を確保する。ワークシートを適宜書かせ、児童が今までの学習を振り返ることができるようにする。</p>	<p>[発展的な学習指導]            記録に挑戦する時間や美しい動きを目指すために、記録の目安や美しい動きの見本を掲示するなど意欲的にチャレンジする環境を整える。</p>
<p>[評価の方法]            学習カード、学習の観察から評価を行う。</p>	<p>[評価の工夫]            1時間の児童の様子をワークシートや学習の様子からとらえ次の時間に生かす。</p>	<p>[発展的な学習指導]            記録に挑戦する時間や美しい動きを目指すために、記録の目安や美しい動きの見本を掲示するなど意欲的にチャレンジする環境を整える。</p>

<p>＜評価・修正＞  <b>[評価]</b>            体育を楽しみ、意欲的に全員が取り組んでいる。一時間の中での一人の運動量を多くするよう展開の工夫をはかってきた。多くの友達と関わることで、教え合いや学び合いの場を多く設けることができた。  <b>[修正]</b> 領域によっては苦手な児童もいるので、個別指導の具体的な工夫が必要である。</p>
---